オーディオ・クリエーター LE
インストールガイド

動作条件

対応 OS	Microsoft® Windows Vista® / Windows® XP Home / XP Professional ※ すべて日本語版
対応パソコン	PC/AT 互換機
CPU ／クロック	Intel® Core™、Pentium®、Celeron®、または互換プロセッサ／ 1.3GHz 以上 （2.8GHz 以上または Core™ 2 Duo を推奨）
メモリー	256MB 以上（1.0GB 以上を推奨）
ハードディスクの空き容量	50MB 以上（7200rpm 以上または SATA のハードディスクを推奨）
画面解像度／色数	1024 × 768 ドット／High Color（16 ビット）以上（1280 × 1024 ドット以上を推奨）
必要なハードウェア	Windows® 対応のオーディオ・インターフェースまたはサウンド・カード

※ Windows® Me/98/95/NT/2000/XP Media Center Edition には対応しておりません。

※ 64 ビット版の Windows® には対応しておりません。

※ 互換プロセッサそのものの互換性に関しては保証いたしかねます。

※ オーディオ録音時には、録音時間や量子化ビット数／サンプルレートに応じて、十分なハードディスク空き容量が必要です。

※ 本製品は上記条件を満たす標準的なパソコンで動作を確認しておりますが、この条件下での動作すべてを保証するものではありません。同一条件下でも、パソコン固有の設計仕様や使用環境の違いにより処理能力が異なることをご了承願います。

※ 本製品の MP3エンコード機能および ENCODER ボタン機能は、インストール後 30 日間ご使用いただける期間限定版です。期間限定を解除するためには、4 ページを参照してください。

※ 本ソフトウェアでは 2GB を超えるオーディオ・ファイルを読み込むことはできません。MP3 などの圧縮ファイルを読み込む場合も、展開後のサイズが 2GB を超える場合は読み込めません。

重要

オーディオ・クリエーターLE をお使いになるには、インターネットによるユーザー登録およびレジストレーション・コードの取得を行っていただく必要 があります。所定の方法でユーザー登録およびレジストレーション・コードの取得を行っていただけない場合、インストール後 14 日を超えてお使いになることはできなくなります。

※ ユーザー登録およびレジストレーション・コードの取得には、インターネット環境とメールアドレスが必要です。携帯電話端末からの登録および携帯メール・アドレスによる登録には対応しておりませんので、ご了承ください。

※ ユーザー登録およびレジストレーション・コードの取得には料金はかかりませんが、インターネット接続料および通信料などはお客様のご負担になります。

使用上のご注意

- CD-ROM を、一般のオーディオ CD プレーヤーで再生しないで下さい。大音量によって耳を痛めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。
- ハードディスクなどの失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は、音量に十分注意してください。ヘッドホンを使用すれば、気がねなくお楽しみいただけます。
- この商品を権利者の許諾なく賃貸等に使用することを禁じます。また、無断複製することは法律で禁じられています。
- ディスクの裏面（信号面）に触れたり、傷をつけたりしないでください。データの読み出しがうまくいかないことがあります。ディスクの汚れは、市販の CD 専用クリーナーでクリーニングしてください。
- 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画あるいは複製し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。あなたが本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、弊社は一切責任を負いません。

※ 製品の仕様および内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

- 本製品に付属しているデモ曲を個人で楽しむ以外に権利者の許諾なく使用することは、法律で禁じられています。権利者に無断でこれらのデータの複製を作ったり、二次的著作物で利用したりしてはいけません。
- 本書では、画面を使用して機能説明をしていますが、工場出荷時の設定（音色名など）と本文中の画面上の設定は一致していません。あらかじめご了承ください。
- 本製品は表紙に記載の条件を満たす標準的なコンピューターで動作を確認しておりますが、この条件下での動作すべてを保証するものではありません。同一条件下でもコンピューター固有の設計仕様や使用環境の違いにより処理能力が異なることをご了承願います。

※ Microsoft、Windows、DirectX、Windows Media、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

※ 本書では Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

※ Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® operating system です。

※ 文中記載の会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

※ ASIO、VST は、Steinberg Media Technologies AG.の商標です。

※ MPEG Layer-3 オーディオ圧縮技術は、Fraunhofer IIS 社と THOMSON multimedia 社よりライセンスを得ています。

※ Cakewalk は、米国 Cakewalk, Inc. の米国における登録商標です。

※ Cakewalk Music Software のロゴは、米国 Cakewalk, Inc. の商標です。

※ iZotope Radius™ Copyright © 2005-2006 iZotope, Inc.

※ DirectX® の正式名称は、Microsoft® DirectX® application programming Interface です。

© 2008　ローランド株式会社　本書の一部、もしくは全部を無断で複写・転載することを禁じます。

オーディオ・クリエーター LE について

オーディオ・クリエーター LE は、デジタル・オーディオ編集のエッセンスを、お手持ちのコンピュータで手軽に利用できるオーディオ編集ソフトウェアです。オーディオ CD から取り込んだデータはもちろん、コンピュータにマイクを接続して録音したデータや、ポータブル・レコーダーに録音した素材など、あらゆる音源の編集に対応しています。不要部分のカットや音量調整はもちろん、MP3 作成、オーディオ CD の書き込み、会議やイベントの記録など、幅広い用途に活用できるソフトウェアです。

本書について

本書（オーディオ・クリエーター LEインストール・ガイド）には、オーディオ・クリエーターLEの導入と初期設定、および環境設定に関する基本的な事項と、これらのトラブルシューティングについて記載されています。

- 本書では操作方法を簡潔に説明するために以下のような表記をしています。
  - メニューを選ぶ手順は、項目名を｜（縦棒）で区切って表記しています。
    たとえば、**ファイル**｜**新規作成**は「**ファイル**メニューの**新規作成**というコマンドを選ぶ」ことを示しています。
  - 特に記載がない場合は、Windows Vista、Windows XP のことを、単に **Windows** と記載しています。
- オーディオ・インターフェースなどのコンピュータ周辺機器をご使用になる場合には、必ずこれらの取扱説明書をお読みください。本書では、一般的なコンピュータ環境を想定した記載になっていますが、周辺機器側の事情によって異なる操作方法や設定が必要になる場合があります。
- Windows を初めてお使いになる場合など、操作についての説明を理解できない場合には、お使いのコンピュータやWindows の取扱説明書をご覧ください。

オーディオ・クリエーター LE のユーザー登録

オーディオ・クリエーターLE のレジストレーションコードを取得するためには、製品本体のユーザー登録とは別にインターネット上でRoland へユーザー登録（オンライン登録）が必要です。

オンライン登録ページ URL　　http://roland.jp/regist/

画面の案内に従って進めてください。
登録いただいたメールアドレスに登録完了メールが届きます。

※ オーディオ・クリエーターLE のユーザー登録に必要なプロダクト・キーは、本冊子の裏表紙に貼られたシールに記載されています。

エンコーダについて

オーディオ・クリエーター LE の［**ENCODER**］およびMP3 への変換は、インストール後30 日間使用できる期間限定版です。30 日間が経過するとこれらの機能は使用できなくなります。
この場合は、オーディオ・クリエーターLE 用エンコーダをオンラインで購入すれば使用可能です。
詳しくは、http://www.cakewalk.jp/owners/ACLE/ をご覧ください。

目次

使用上のご注意 2
- オーディオ・クリエーター LE について 3
- 本書について 3
- オーディオ・クリエーター LE のユーザー登録 3
- エンコーダについて 4

インストールとレジストレーション 6
- インストールの前にご確認ください 6
- オーディオ・クリエーター LE のインストール 7
- オーディオ・クリエーター LE のレジストレーション 9
  - レジストレーションコードの取得（インターネット接続が必要） 9
  - インストールしたコンピュータがインターネットに接続できないときは 10

導入時の各種設定 12
- オーディオ・デバイスの設定 12
  - オーディオ・デバイスやオーディオに関するその他の設定項目 13
- デモ曲の再生 15

オーディオ・クリエーター LE の基本操作 17
- オーディオ・データの取り込み 17
  - ポータブル・レコーダーから取り込む 17
  - カセットやオーディオ機器の音を録音する 17
- 取り込んだオーディオ・データを再生する 18
- オーディオ・データの編集 19
  - 不要部分を削除する（トリミング） 19
  - 全体の音量を変える（ノーマライズ） 21
- ファイルの保存 23
  - ファイルを保存する 23
  - オーディオ・データを分割してファイルに保存する 24
- オーディオ CD を作成する 25

トラブルシューティング 27
- インストールや設定時のトラブル 28
- 起動時のトラブル 29
- 再生時のトラブル 30
- その他トラブル 31
- 音切れやドロップアウトの解消について 32

資料 33
- サンプルレートの設定について 33
- オンライン・ヘルプの使いかた 35
- マルチユーザーでの使用について 38
- オーディオ・クリエーター LE のアンインストール 38

インストールとレジストレーション

オーディオ・クリエーターLE をお使いのコンピュータにインストールします。

インストール後、14 日間はそのままオーディオ・クリエーターLE をお使いいただくことができます。14 日間を超えてオーディオ・クリエーターLE を使い続けるには、Cakewalk 社から発行されるレジストレーション・コードをオーディオ・クリエーターLE に入力します。『**オーディオ・クリエーター LE のレジストレーション**』（P.9）

インストールの前にご確認ください

管理者権限を持ったユーザーでログオンしてインストールしてください

オーディオ・クリエーターLE は必ず管理者権限を持ったユーザーでログオンしてインストールしてください。使用時は管理者権限を持たないユーザーも使用できます。

インストール時はシステム監視ソフトウェアを終了させてください

ウィルス・チェッカーなどのシステム監視ソフトウェアがインストールされている場合、オーディオ・クリエーターLE のインストールが完了するまで、システム監視ソフトウェアを、必ず停止させてください。Windows のタスクバーに表示されているアプリケーション以外も、忘れずに停止させてください。
停止方法は、お使いのアプリケーションの取扱説明書をご確認ください。

オーディオ・クリエーター LE のインストールに必要なもの

- Audio Creator LEの CD-ROM
- インターネットに接続できるコンピュータ
- 電子メールアドレス（携帯メールアドレス・匿名性の高いメールアドレスは不可）

オーディオ・クリエーター LE のインストール

1. Audio Creator LE CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに入れます。

※ **自動再生**ダイアログが表示されたときは、「**フォルダを開いてファイルを表示**」をクリックします。

2. Windows の**スタート**メニューから**コンピュータ**を選び、Audio Creator LE CD-ROM の中の **Install** フォルダの中の **Setup** をダブルクリックします。

コンピュータは Windows XP では、**マイコンピュータ**と表示されます。

Windows の設定によっては、**Setup.exe** と表示されることがあります。

3. Windows Vista のときは**ユーザーアカウント制御**ダイアログが表示されることがあります。[**続行**] をクリックしてください。

4. **セットアップウィザードの開始**ダイアログが表示されます。[**次へ**] をクリックします。

オーディオ・クリエーター LE と互換性のあるプラグインがインストールされている（またはされていたことがある）環境では、**以前のバージョンが見つかりました**というダイアログが表示されることがありますが、問題はありません。[**次へ**] をクリックして、インストールを進めてください。

5. **ソフトウェア使用許諾契約**ダイアログが表示されます。ダイアログの内容をよく確認して、承諾・同意していただける場合は、すべての項目と「**使用許諾契約に同意します**」にチェックを入れてから、[**次へ**] をクリックします。

※ チェックを入れないとインストールすることはできません。

6. **インストール先の指定**ダイアログでは、オーディオ・クリエーター LE のプログラム本体をインストールするフォルダを確認して［**次へ**］をクリックします。

※ インストール先は、初期状態のまま変更しないことを強くお勧めします。やむを得ず変更する場合は、[**参照**] をクリックし、表示されるダイアログでインストールするフォルダを選んでください。また 2 バイト文字（日本語など）を含むフォルダには、インストールしないでください。

インストール先を変更すると、オーディオ・クリエーター LE が正常に動作しなくなることがあります。

7. **プログラムグループの指定**ダイアログでは、スタート・メニューに登録するショートカットを指定します。通常は設定を変更せずに［**次へ**］をクリックします。

8. **共有コンポーネントのフォルダ**ダイアログでは、共有コンポーネントをインストールするフォルダを確認して［**次へ**］をクリックします。

※ インストール先は、初期状態のまま変更しないことを強くお勧めします。やむを得ず変更する場合は、［**参照**］をクリックして、表示されるダイアログでインストールするフォルダを選んでください。ただし、お使いのコンピュータにすでに共有コンポーネントがインストールされている場合は、インストール先のフォルダは変更できません。また 2 バイト文字（日本語など）を含むフォルダには、インストールしないでください。

9. **VST プラグインのフォルダ**ダイアログで、VST プラグインのインストール先を指定します。通常はそのまま［**次へ**］をクリックしてください。

10. **追加タスクの選択**ダイアログが表示されます。「**デスクトップにショートカットを作成する**」にチェックが入っていることを確認して、［**次へ**］をクリックしてください。

11. **インストール準備完了**ダイアログが表示されます。［**インストール**］をクリックすると、ファイルのコピーが始まります。

12. **インストール状況**を知らせるダイアログが表示されます。そのままお待ちください。

※ お使いのコンピュータによっては、10 分以上かかる場合もあります。

13. **セットアップウィザードの完了**ダイアログが表示されたら、［**完了**］をクリックしてください。

14. オーディオ・クリエーター LE の Readme ファイルが表示されます。読み終わったら、ワードパッドの**ファイル**メニューから**ワードパッドの終了**を選びます。

お使いのコンピュータによっては、ワードパッド以外のアプリケーションで開く場合があります。

これでインストールは終了しました。続いて**オーディオ・クリエーター LE のレジストレーション**に進んでください。

オーディオ・クリエーター LE のレジストレーション

レジストレーションコードの取得（インターネット接続が必要）

1. Windows Vista の場合は、デスクトップにある **Audio Creator LE** のアイコンを右クリックし、「**管理者として実行**」を選びます。「**ユーザーアカウント制御**」が表示されるので、［**続行**］をクリックして、オーディオ・クリエーターLE を起動します。

ご注意! Windows Vistaでレジストレーションを行うときは、必ず管理者として実行してください。管理者として実行しないと、レジストレーションが行えません。

※ Windows XP では、デスクトップにある **Audio Creator LE** のアイコンをダブルクリックします。

2. 初回起動時には、**オーディオデバイスの確認**が表示されます。［**OK**］をクリックしてください。

3. ダイアログに「**〜正常に終了しました。**」と表示されたら、［**閉じる**］をクリックしてダイアログを閉じます。**オーディオデバイスのエラー**が表示された場合、ここでは［**無視して続行**］をクリックしてください。

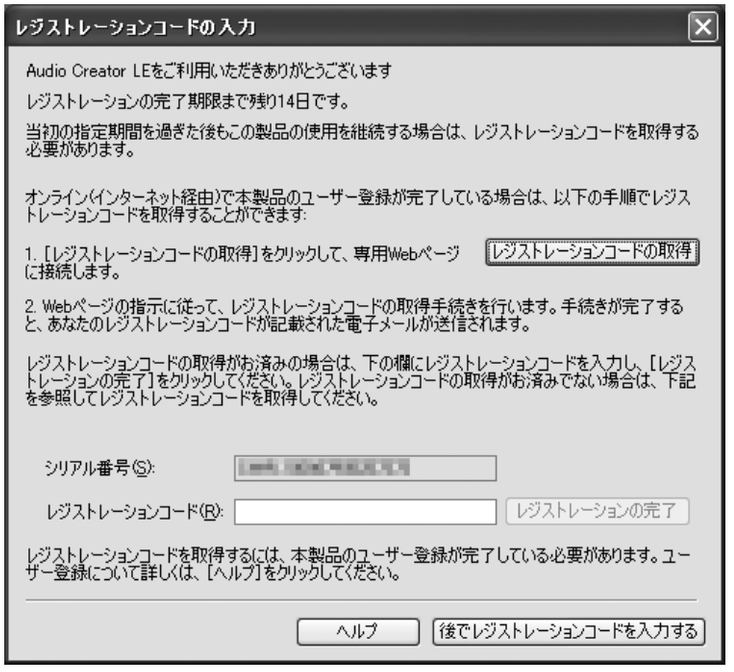
4. 「**レジストレーションコードの入力**」画面が表示されるので、［**レジストレーションコードの取得**］をクリックします。

5. 表示された画面に従って進んでください。レジストレーションコードを記載したメールが登録アドレスに送信されます。

6. メールを受信したら、レジストレーションコードを下の記入欄に控えてください。

※ レジストレーションコードは再発行いたしませんので、大切に保管してください。

7. 「**レジストレーションコードの入力**」画面で、先ほど控えていただいたレジストレーションコードを入力欄に半角英数字で、ハイフン（-）も含めて正確に入力してください。
［**レジストレーションの完了**］をクリックします。レジストレーション完了の画面が表示されたら［**OK**］をクリックします。



レジストレーションコード：

8. **Audio Creator LE にようこそ！**ダイアログが表示されます。ここでは［**閉じる**］をクリックして、この画面を閉じます。

メモ 起動時に **Audio Creator LE にようこそ！**ダイアログを表示させたくないときは、ダイアログ下部にある **起動時に表示する** のチェックを外してください。再度表示させたい場合は、タスクトレイの Audio Creator LE アイコンを右クリックし、表示されるメニューから「**起動時にようこそ画面を表示**」にチェックを入れて、オーディオ・クリエーター LE を再起動させてください。

9. レジストレーションが終わったら、いったんオーディオ・クリエーターを終了します。

オーディオ・クリエーターLE ツールバーの右上にある、 ボタンをクリックしてオーディオ・クリエーターLE を終了します。

以降は、デスクトップにある Audio Creator LE アイコンをダブルクリックして、通常ユーザーとして起動します。

メモ オーディオ・クリエーターLE の起動は、Windows の**スタート**メニューから**すべてのプログラム**を選択し、**Cakewalk** | **Audio Creator LE** | **Audio Creator LE** からも行えます。

続いて「**導入時の各種設定**」へお進みください。（P.12）

インストールしたコンピュータがインターネットに接続できないときは

1. オーディオ・クリエーターLE を起動したときに表示される「**レジストレーションコードの入力**」画面の「**シリアル番号（S）：**」のところに書いてあるシリアル番号をメモしておきます。

2. インターネットに接続できる別のコンピュータからCakewalk日本語公式サイトのCakewalk製品レジストレーションページ（**http://www.cakewalk.jp/owners/CwReg/**）にアクセスし、画面に従って、機種名選択、シリアル番号の入力を行ってください。レジストレーションコードを記載したメールが登録アドレスに送信されます。

3. メールを受信したらレジストレーションコードを前ページの記入欄に控えてください。

※ レジストレーションコードは再発行いたしませんので、大切に保管してください。

4. デスクトップにある **Audio Creator LE** のアイコンを右クリックし、「**管理者として実行**」を選びます。「**ユーザーアカウント制御**」が表示されるので、［**続行**］をクリックして、オーディオ・クリエーターLE を起動します。

※ Windows XP では、デスクトップにある **Audio Creator LE** のアイコンをダブルクリックします。

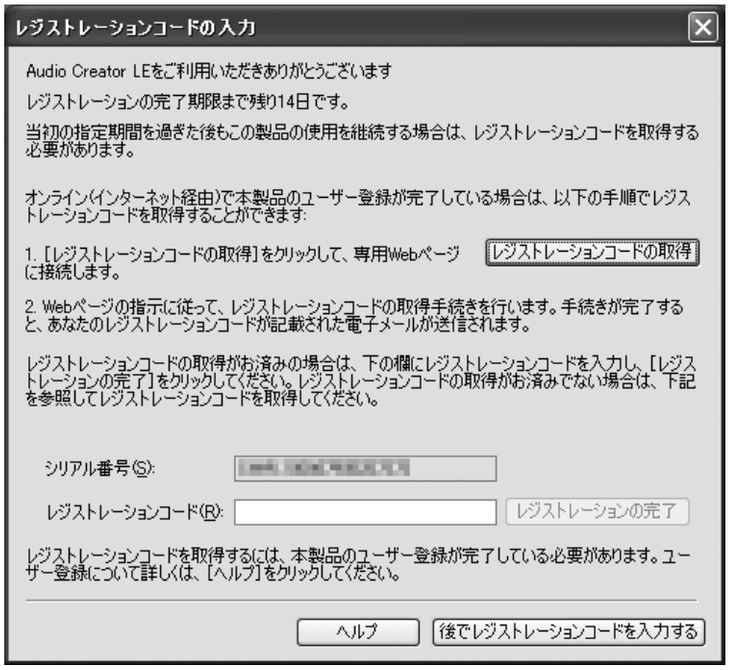
メモ オーディオ・クリエーターLE の起動は、Windows の**スタート**メニューから**すべてのプログラム**を選択し、**Cakewalk** | **Audio Creator LE** | **Audio Creator LE** からも行えます。

5. 初回起動時には、**オーディオデバイスの確認**が表示されます。[**OK**] をクリックしてください。

6. ダイアログに「**〜正常に終了しました。**」と表示されたら、[**閉じる**] をクリックしてダイアログを閉じます。**オーディオデバイスのエラー**が表示された場合、ここでは［**無視して続行**］をクリックしてください。

7. 「**レジストレーションコードの入力**」画面が表示されるので、先ほど控えていただいたレジストレーションコードを入力欄に半角英数字で、ハイフン（-）も含めて正確に入力してください。[**レジストレーションの完了**] をクリックします。レジストレーション完了の画面が表示されたら［**OK**］をクリックします。

8. **Audio Creator LE にようこそ！**ダイアログが表示されます。ここでは［**閉じる**］をクリックして、この画面を閉じます。



メモ 起動時に **Audio Creator LE にようこそ！**ダイアログを表示させたくないときは、ダイアログ下部にある **起動時に表示する** のチェックを外してください。再度表示させたい場合は、タスクトレイの Audio Creator LE アイコンを右クリックし、表示されるメニューから「**起動時にようこそ画面を表示**」にチェックを入れて、オーディオ・クリエーター LE を再起動させてください。

9. レジストレーションが終わったら、いったんオーディオ・クリエーターを終了します。

オーディオ・クリエーターLE ツールバーの右上にある、 ボタンをクリックしてオーディオ・クリエーターLE を終了します。

以降は、デスクトップにある Audio Creator LE アイコンをダブルクリックして、通常ユーザーとして起動します。

メモ オーディオ・クリエーターLE の起動は、Windows の**スタート**メニューから**すべてのプログラム**を選択し、**Cakewalk** | **Audio Creator LE** | **Audio Creator LE** からも行えます。

導入時の各種設定

オーディオ・デバイスの設定

お使いのコンピュータの内蔵サウンド機能や、オーディオ・インターフェースが、オーディオ・クリエーターLE に正しく認識されているか確認します。

1. オーディオ・クリエーターLE・ツールバーの［**オプション**］ボタンをクリックして、**オーディオオプション**ダイアログを開きます。
2. **オーディオオプション**ダイアログの**設定**タブを開きます。
3. **ドライバモード**が **MME（32-Bit）**になっていることを確認します。

メモ ドライバモードを変更した場合は、**オーディオオプション**ダイアログの［**OK**］をクリックしてからオーディオ・クリエーターLE を再起動してください。

4. **再生デバイス**欄から、再生に使用するデバイスを選択します。
   録音デバイス欄から、録音に使用するデバイスを選択します。

■ デバイスが表示されないときは…

ドライバモードを変更しましたか？

ドライバモードが初期状態の **MME（32-Bit）**から変更されている場合は、お使いのオーディオ・インターフェースによってはデバイスが表示されない場合があります。

オーディオ・インターフェースのドライバは正しくインストールされていますか？

お使いのオーディオ・インターフェースの取扱説明書を参照し、オーディオ・インターフェースのドライバが正しくインストールされているか確認してください。

オーディオ・インターフェースはコンピュータに正しく接続されていますか？

5. **ビット数**を**16** に設定します。
6. **新規プロジェクトのサンプルレート**を**44100** に設定します。

サンプルレートを変更するには、『**サンプルレートの設定について**』(P.33) を参照してください。

7. [**オーディオデバイスの確認**] をクリックします。「**オーディオデバイスの確認は正常に終了しました**」が表示されれば OK です。[**閉じる**] をクリックして、**オーディオデバイスの確認**ダイアログを閉じてください。
オーディオデバイスのエラーが表示されたときは、設定内容に誤りがあると考えられますので、手順 1 から順に確認してみてください。

オーディオ・クリエーター LE の再起動を要求された場 合は、オーディオ・クリエーター LE を再起動してください。

8. [**OK**] をクリックして、**オーディオオプション**ダイアログを閉じてください。
オーディオデバイスのエラーが表示されたときは、設定内容に誤りがあると考えられますので、手順 1 から順に確認してみてください。
オーディオデバイスのエラーが表示されなかった場合は、これで設定は完了しました。

以下の場合には、オーディオデバイスの設定を再度実行する必要があります。

- オーディオ・クリエーター LEのインストール直後
- オーディオ・インターフェースのドライバを更新した場合
- 新しくオーディオ・インターフェースのドライバをインストールした場合

オーディオ・デバイスやオーディオに関するその他の設定項目

必要に応じて、以下のオプションも変更してください。

各ダイアログにあるヘルプ・ボタンをクリックすると、オプションに関する詳細な情報を確認できます。

■ オーディオオプション・ダイアログ／設定タブ

64 ビット倍精度エンジン

オーディオ・クリエーターLE の 64 ビット・オーディオエンジンを使用するときにチェックを入れます（オフの状態では 32 ビットです）。オンにすると音質は向上しますが、同時にコンピュータへの負担も増加し、音切れなどの原因にもなります。コンピュータの処理能力に余裕がないときは、オフでご使用ください。

ドライバ・モード

オーディオ・クリエーターLE は、以下の3 つのドライバモードを使うことができます。

- **MME（32-Bit）**
- **WDM/KS**
- **ASIO**

ドライバモードは、初期状態は MME に設定されています。コンピュータの内蔵オーディオ機能や、多くのオーディオ・インターフェースは MME に対応しているので、通常この設定を変更する必要はありません。音楽制作用の一部のオーディオ・インターフェースで、WDM や ASIO モードを使用する必要がある場合は、以下の手順でドライバモードを変更します。

1. ［**オプション**］ボタンをクリックして、**オーディオオプション**ダイアログを開きます。
2. **ドライバモード**を変更します。
   変更すると、他の設定が無効になり、変更できなくなります。
   ［**OK**］をクリックしダイアログを閉じると、メッセージが表示されます。［**OK**］をクリックして、メッセージを閉じてください。
3. オーディオ・クリエーターLE を再起動します。
4. ［**オプション**］ボタンをクリックして、**オーディオオプション**ダイアログを開き、各設定を行ってください。その後、ASIO モード以外の場合は、［**オーディオデバイスの確認**］をクリックして実行してください。
5. ［**OK**］をクリックし、ダイアログを閉じます。
   オーディオ・クリエーターLE の再起動を要求された場合は、オーディオ・クリエーター LE を再起動してください。

レイテンシ

レイテンシは、オーディオ・クリエーターLE がオーディオ処理をして、実際に音として発音するまでの時間です。
レイテンシを大きくすると、発音されるまでの時間は長くなりますが、コンピュータの負担は軽減されます。
レイテンシを小さくすると、発音されるまでの時間は短くなりますが、コンピュータの負担が増加します。そのため、音切れやドロップアウト（再生が止まってしまうこと）の原因になります。
お使いのコンピュータの性能により、レイテンシのバッファサイズを調整してください。
オーディオ・クリエーターLE の再生に問題がない場合は、変更する必要はありません。

デモ曲の再生

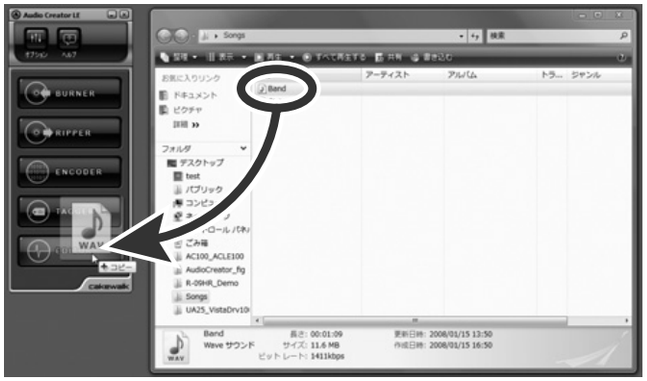
Audio Creator LE CD-ROM にはデモ曲が収録されています。以下の手順でお楽しみください。

ご注意! オーディオ･クリエーターLEから Audio Creator LE CD-ROM 上のデモ曲を直接開くと、再生時にCD-ROM 上のデータが使用されるためドロップアウト（再生が止まってしまうこと）が起こりやすくなります。デスクトップなどにコピーしてから再生してください。

1. Windows のエクスプローラーなどで､Audio Creator LE CD-ROMの **Songs** フォルダを､フォルダごとハードディスク（デスクトップなど）にコピーします。

※ コピーが完了したら、CD-ROMはコンピュータから取り出し、大切に保管してください。

2. オーディオ･クリエーターLEを起動し､手順 1でコピーしたフォルダの中にあるオーディオ・ファイル **Band** を、[**EDITOR**] ボタンにドラッグ＆ドロップし、オーディオエディタを開きます。
オーディオ・ファイルが完全にロードされるまでしばらくお待ちください。



3. [**再生**] ボタンをクリックします。コンピュータの内蔵スピーカや再生機器のボリュームを調整してください。

曲が正しく再生されない場合は、以下の項目を確認してください。

再生時にエラーが出た場合

オーディオ・ファイルとオーディオ・デバイスのサンプルレートは一致していますか？
オーディオ・ファイルのサンプルレートは、オーディオ・クリエーターLE の画面右下に**44.1kHz, 16-bit**という形式で表示されます。オーディオ・デバイスのサンプルレートと一致していないときは、オーディオ・デバイスのサンプルレートをオーディオ・ファイルのサンプルレートに合わせてください。

音が聞こえない場合

聞こえないときは、コンピュータや再生機器の設定を確認してください。
音が聴こえず、レベルメーターも動いていないときは、オーディオ・デバイスの設定に問題があることが考えられます。『**オーディオ・デバイスの設定**』(P.12) を参照して設定を確認してください。

4. デモ曲を聴き終わったら、メニューから**ファイル**｜**閉じる**を選びます。**プロジェクトを保存しますか？**と表示されたら［**いいえ**］をクリックします。

※ 別のオーディオファイルを再生するときには、手順 4 を実行していったんオーディオエディタを閉じてから、手順２のように［**EDITOR**］ボタンにファイルをドラッグ＆ドロップしてください。

オーディオ・クリエーター LE の基本操作

オーディオ・クリエーターLE を使って、「オーディオ・データの取り込み」→「再生」→「編集」→「保存」→「オーディオ CD を作成」といった、基本的な手順を紹介します。
『**オーディオ・デバイスの設定**』（P.12）がきちんと設定されていることを確認してから、以下の手順を行ってください。

オーディオ・データの取り込み

ポータブル・レコーダーから取り込む

1. ポータブル・レコーダーの取扱説明書を参照し、ポータブル・レコーダーとコンピュータを接続します。
2. **スタート**メニューから**コンピュータ**を選びます。
   ポータブル・レコーダーのメモリーカードが、**リムーバブルディスク**などの名前で表示されています。

   メモ **コンピュータ**は Windows XP では、**マイコンピュータ**と表示されます。
3. **リムーバブルディスク**をダブルクリックします。
4. コンピュータに取り込みたいオーディオ・ファイルを選び、デスクトップなどの任意の場所へドラッグしてコピーします。

   メモ コピー先のフォルダとして、新規フォルダを作成しておくことをお勧めします。

カセットやオーディオ機器の音を録音する

※ 録音する前に、P.12 の「オーディオ・デバイスの設定」を確認して、基本設定を完了しておいてください。

1. 録音したい機器のオーディオ出力（OUTPUT）端子とオーディオ・インターフェースのオーディオ入力（INPUT）端子をケーブルで接続します。

※ ターンテーブル（レコード・プレーヤー）を接続する場合は、出力信号が特殊なため、フォノ・イコライザー搭載のオーディオ・アンプもしくはターンテーブル対応のオーディオ・アンプを使用してください。

2. オーディオ・クリエーターLE ツールバーの［**オプション**］ボタンをクリックし、**オーディオオプション**ダイアログを開きます。

3. オーディオオプションダイアログの設定タブをクリックし、録音デバイスの中から録音に使用するデバイスを選択します。ステレオで録音する場合は、**Stereo** と表示されているデバイスを、モノラルで録音する場合は、**Left** または **Right** と表示されているデバイスを選択します。

4. [**OK**] をクリックしてオーディオオプション・ダイアログを閉じます。

※ オーディオ・クリエーターLE の再起動を要求された場合は、オーディオ・クリエーター LE を再起動してください。

5. オーディオ・クリエーターLE ツールバーの [**EDITOR**] ボタンをクリックして、オーディオエディタを表示します。

6. [(**録音**)] ボタンをクリックして、録音待機状態にします。

7. 録音したい機器を再生状態にすると、オーディオエディタ右端のレベルメーターに音量が表示されます。最大音量が入力された時に一番上まで振り切れないよう、再生する機器の音量や、録音に使用するオーディオ・インターフェースの入力レベルを調整します。

8. [(**一時停止**)] ボタンをクリックして録音を開始します。
録音された音が、波形表示部に表示されます。

9. 録音を終えるには [(**停止**)] ボタンを押します。

録音をやり直したい場合は、他の操作をする前に、**Ctrl** キーを押しながら **z** キーを押すと、録音前の状態に戻すことができます。

取り込んだオーディオ・データを再生する

1. オーディオ・クリエーターLE を起動し、開きたいオーディオ・ファイルを [**EDITOR**] ボタンにドラッグ＆ドロップして開きます。オーディオ・ファイルが完全にロードされるまで、しばらくお待ちください。

オーディオ・クリエーター LE から、ポータブル・レ コーダー内のデータを直接開くと、再生時にポータブル・レコーダー内のデータが使用されるためドロップアウト（再生が止まってしまうこと）が起こりすくなります。デスクトップなどにコピーしたファイルを開いてください。

2. [**再生**] ボタンをクリックします。
コンピュータの内蔵スピーカや再生機器のボリュームを調整してください。

オーディオ・データの編集

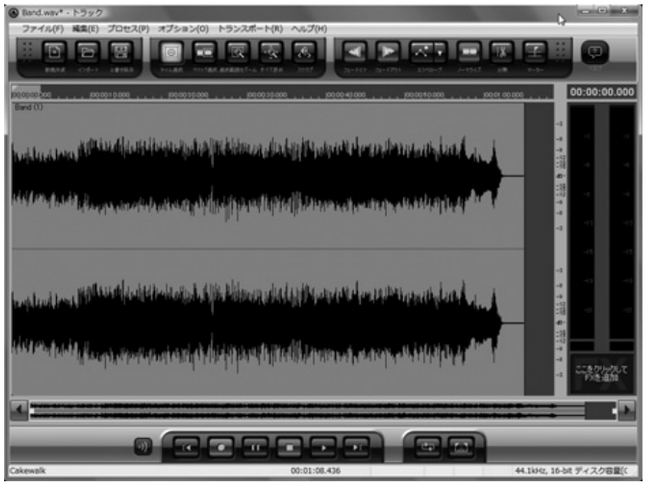
ポータブル・レコーダーで録音したデータは、前後に不要な部分があったり、音量が小さかったりします。ここでは、データの不要な部分の削除と、音量を大きく揃える手順を紹介します。

不要部分を削除する（トリミング）

1. 編集したいオーディオファイルを、オーディオ・クリエーター LE ツールバーの［**EDITOR**］ボタンにドラッグ＆ドロップします。

2. ［**タイム選択**］ボタンをクリックします。マウスカーソルが I になっていることを確認して、データの先頭の削除したい範囲をドラッグして選択します。
選択された範囲が反転します。

3. **編集** | **削除**またはキーボードの［**Delete**］を押して、削除します。
選択していた部分が削除され、その直後にある部分が左にスライドします。



4. データの後ろの削除したい範囲をドラッグして選択します。

5. **編集**｜**削除**またはキーボードの［**Delete**］を押して、削除します。

これで、不要部分を削除する作業が完了しました。
編集した内容を保存するには、『**ファイルを保存する**』（P.23）を参照してください。

全体の音量を変える（ノーマライズ）

ポータブル・レコーダーで録音したデータをそのままオーディオ CD にすると、市販のオーディオ CD に比べて音量が著しく小さくなる場合があります。**ノーマライズ**という機能を使って、オーディオ・データの音量を大きくする手順を紹介します。

1. 編集したいオーディオ・ファイルを **EDITOR** で開きます。

2. [**クリップ選択**] ボタンをクリックし、オーディオ・データをクリックします。表示が反転します。

3. [**ノーマライズ**] ボタンをクリックし、**ノーマライズ**ダイアログを開きます。

4. **ノーマライズレベル**スライダーで、オーディオ波形の振幅が最も大きい部分（音量が最も大きい部分）のレベルを設定します。
   ここでは、**100%（0db）**で設定します。

5. [**OK**] をクリックし、ダイアログを閉じます。

6. オーディオ波形の振幅が大きくなりました。再生する場合は、音量に注意してください。

※ ノーマライズを行うと、オーディオに録音されているノイズも一緒に大きくなります。

※ ノーマライズを行っても、クリップ内に大きな信号がすでに記録されている場合、ノーマライズを実行しても変化が少ないことがあります。

これで、全体の音量を変える作業が完了しました。
編集した内容を保存するには、『**ファイルを保存する**』（P.23）を参照してください。

ファイルの保存

編集が完了したオーディオ・データを CD-R に書き込んでCD プレイヤーなどで再生できるようにします。

ファイルを保存する

1. **EDITOR**画面で、**編集**｜**選択**｜**すべてを選択解除**を実行してください。

※ データの一部分を選択した状態で保存すると、選択された部分のみ抽出されたデータで保存されます。

2. **EDITOR**画面で、**ファイル**｜**名前を付けて保存**｜**WAV**を選択し、**名前を付けて保存**ダイアログを開きます。
3. **「ファイル名」**の欄に保存するファイルの名前を入力します。

4. オーディオ CD に書き込むために、以下のように設定します。
   - ファイルの種類：Wave File
   - チャンネルフォーマット：ステレオ
   - サンプルレート：44100
   - ビット数：16
5. **オーディオCDのトラックリストに追加**にチェックを入れます。オーディオ CD のトラックリストに自動的にリストアップされます。

※ チェックを入れることができない場合は、WAV 以外の形式を選んでいる可能性があります。手順 2 からやり直してください。

6. **［保存］**をクリックします。

オーディオ・データを分割してファイルに保存する

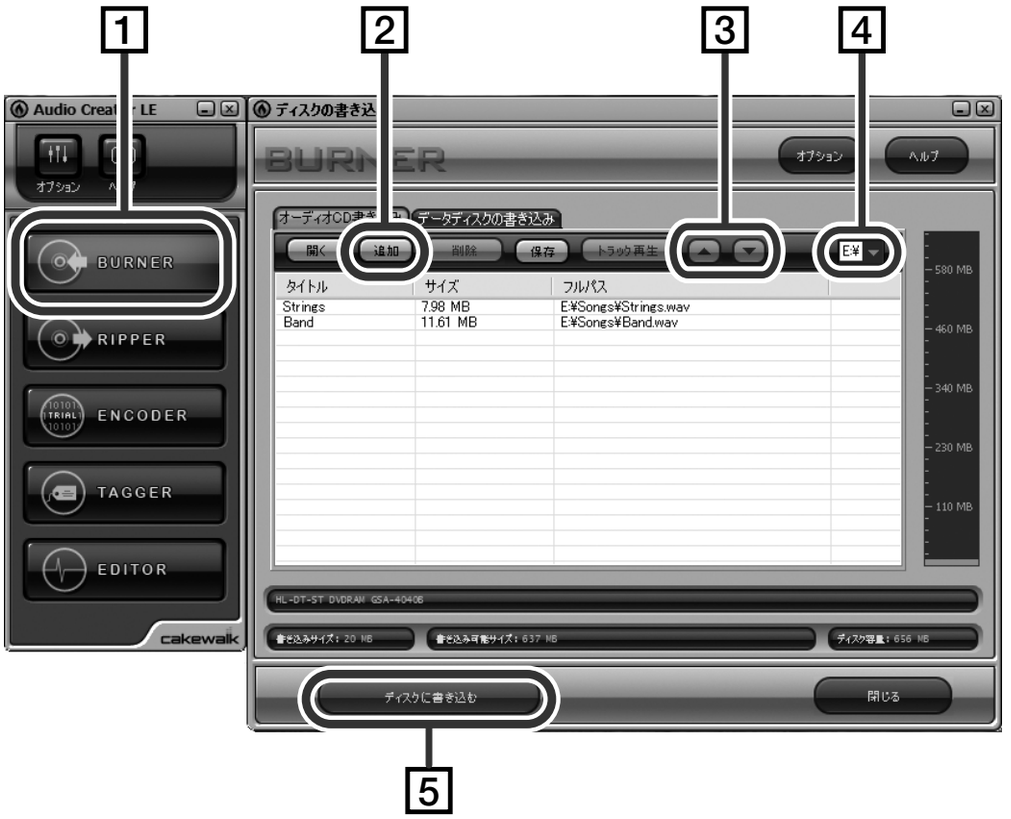
あらかじめプロジェクトにマーカーを設定しておくことで、ファイルをマーカーの位置で自動的に分割させて、個別のファイルとして保存することができます。

たとえば、コンサートを長時間録音したオーディオ・ファイルで、各曲の演奏開始部分にマーカーを設定しておけば、保存する際に曲ごとのオーディオ・ファイルを簡単に作成できます。

1. 分割したいオーディオ・データを **EDITOR** に取り込みます。（『**オーディオ・データの取り込み**』(P.17)）
2. 取り込んだオーディオを再生しながら分割したい位置を探します。
3. 分割したい位置が見つかったら、波形表示の上の時間表示（タイムルーラー）上で分割したい位置を右クリックし、表示されたメニューから「**マーカー挿入**」を選びます。
4. **マーカー**ダイアログが表示されるので、**名前**欄にマーカー名を入力し、[**OK**] ボタンをクリックします。
   ここで入力した名前がファイルを保存するときのファイル名に使用されます。
5. 同様の手順で、分割したい位置にすべてマーカーを設定します。
6. **ファイル**｜**名前を付けて保存**｜**WAV** を選びます。
   名前をつけて保存ダイアログが表示されます。
7. ダイアログ右下の「**マーカー位置で分割してファイルを保存**」にチェックをいれます。
8. [**保存**] ボタンをクリックします。
   マーカーの名前をファイル名とした個別のファイルが作成されます。

オーディオ CD を作成する

1. [**BURNER**] ボタンをクリックし、**ディスクの書き込み** ダイアログを開きます。
「オーディオ CD のトラックリストに追加」にチェックを入れて保存したファイルが、自動的にこのウィンドウに表示されます。
2. [**追加**] ボタンをクリックします。
追加したいオーディオ・ファイルを選択して［**開く**］をクリックして、ファイルを追加します。
3. 曲の順番を変更するには、曲を選択して［ ］、［ ］ボタンをクリックします。
4. **書き込みドライブ**で、書き込みを行うドライブを指定します。
5. コンピュータの CD ドライブに、未使用の CD-R を入れます。CD-R が認識されたら、CD-R の空き容量とオーディオ・データ全体の容量などを確認し、［**ディスクに書き込む**］ボタンをクリックします。
オーディオ CD の書き込みが始まります。



オーディオ・データの容量が CD-R の容量を超えている場合、「書き込みサイズ」の数値が赤色で表示されます。このとき、［**ディスクに書き込む**］ボタンをクリックしても、メッセージが表示され CD-R に書き込みできません。［**OK**］をクリックしてウィンドウを閉じてください。

リストから削除するトラックを選択して［**削除**］ボタンをクリックすると、選択されたトラックがリストから削除されます。
「書き込みサイズ」の数値が黄色表示になるように調整してください。

6. 書き込みが完了したら、CD プレイヤーやカーオーディオで聴いてみましょう。

※ 作成したオーディオ CD を再生できないプレイヤーもありますので、ご注意ください。

■ MP3，WMA フォーマットでの保存

※ 本製品のMP3 エンコード機能は、インストール後30 日間ご使用いただける期間限定版です。期間限定を解除するためには、4 ページを参照してください。

1. [**EDITOR**] 画面で、**ファイル**｜**名前を付けて保存**から **MP3** もしくは **WMA** を選択し、**名前を付けて保存**ダイアログを開きます。

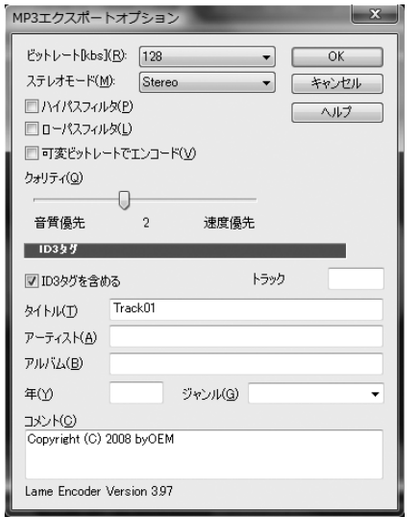
2. 以下のように設定します。
- ファイルの種類：MP3 またはWMA
- チャンネルフォーマット：ステレオ
- サンプルレート：44100
- ビット数：16

3. [**保存**] をクリックします。

4. それぞれの設定ダイアログが開きますので、以下のように設定します。

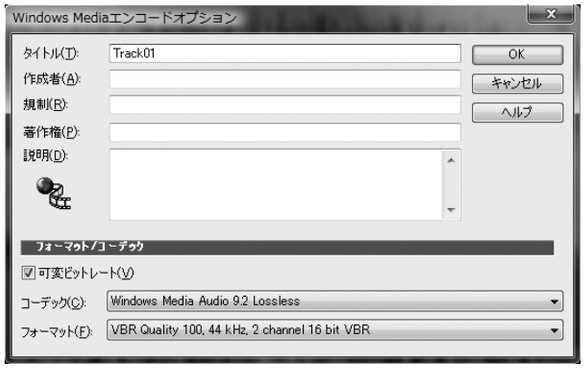
MP3 の場合

- ビットレート：　128（この値を大きくすると音質は良くなりますが、データ・サイズが大きくなります）
- ステレオモード：Stereo
- ID3 タグ：　**ID3 タグを含める**にチェックを入れると、タイトルやアーティスト名を入力することができます。



WMA の場合

- コーデック：　お使いのコンピュータで使用できるコーデックが表示されます。**Lossless** や **Professional** を選択すると音質は良くなりますが、データ・サイズが大きくなります。
- フォーマット：初期状態のまま、特に変更する必要はありません。



その他の設定については、**オンラインヘルプ**（P.35）を参照してください。

トラブルシューティング

この章には、本製品の導入時に想定されるトラブルと、その解決法が記載されています。インストール時に予期せぬトラブルが起きたら、まずこの章をお読みください。
この章に書いてある内容を確認しても思うように動作しないときは、以下のドキュメントも参照してください。

オンライン・ヘルプ

オーディオ・クリエーターLE のオンライン・ヘルプは、基本的な操作方法から各種機能やコマンドの詳細な情報まで、体系的にまとめられたドキュメントです。オーディオ・クリエーターLE を起動してオーディオ・クリエーターLE・ツールバーの［**ヘルプ**］ボタンをクリックするとご覧いただけます。

検索タブを開きキーワードを入力すると、関連するトピックを検索することができます。
『**オンライン・ヘルプの使いかた**』（P.35）

README.RTF（オンライン・ドキュメント：リッチテキスト形式）

オーディオ・クリエーターLE に関する補足情報や特定の環境における使用上の注意事項などが記載されています。**スタート**メニューから**すべてのプログラム**を選び、**Cakewalk** ／ **Audio Creator LE** ／ **Audio Creator LE Readme** を選択します。

Read1st.rtf（オンライン・ドキュメント：リッチテキスト形式）

Audio Creator LE CD-ROM のルート・ディレクトリに収録されています。
Read1st.rtf には、CD-ROMに収録されている各ファイルの詳しい情報や、オーディオ・クリエーターLE に関する追加情報が記載されています。オーディオ・クリエーター LE をご使用になる前に必ずお読みください。

Cakewalk 日本語オフィシャル Web サイト（http://www.cakewalk.jp/）

Cakewalk 製品の最新情報などを提供しています。

ローランド・ホームページ（http://www.roland.co.jp/）

ローランドお客様相談センターのページでも、Cakewalk 製品の情報がご覧いただけます。

それでも思うように動作しないときは、巻末に記載の『お問い合わせの窓口』にお問い合わせください。

※ Windows を初めてお使いになるときなど、操作についての説明が分からない場合は、お使いのコンピュータやWindows の取扱説明書をご覧ください。

※ オーディオ・インターフェースなどの周辺機器を使用しているときは、必ず周辺機器の取扱説明書をご用意ください。

インストールや設定時のトラブル

トラブル	確認事項	対処
オーディオ・クリエーター LE がインストールできない	管理者権限をもつユーザーでインストールしましたか？	必ず管理者権限をもつユーザーがログオンしてインストールしてください。これ以外のユーザーでインストールを行なうと正しくインストールすることができません。
	オーディオ・クリエーター LE CD-ROM は正しくCDドライブにセットされていますか？	CD ドライブや Audio Creator LE CD-ROM が汚れているときは、市販のクリーナーなどできれいにしてください。
	ウィルス・チェッカーやシステム監視ソフトが動作していませんか？	インストールが完了するまで、これらのソフトウェアの動作を停止させてください。停止方法については、お使いのコンピュータ、またはソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
	ネットワーク・ドライブからインストールしていませんか ？	ローカルドライブからインストールしてください。
	ハード・ディスクに十分な空き容量がありますか ？	最低 50MB 以上の空き容量を確保してください。
オーディオ・デバイスのエラーが表示される	オーディオ・デバイスの設定は適切ですか ？	サンプルレート（P.33）が、お使いのコンピュータや接続しているオーディオ・インターフェースで使用可能な設定かどうかを確認してください。 また、オーディオ・クリエーターLE で使用しないオーディオ・デバイスがインストールされている場合は、これらのオーディオ・デバイスを無効にするか、関連するオーディオ・インターフェースをコンピュータから取り外してみてください。

起動時のトラブル

トラブル	確認事項	対処
起動できない	多くのアプリケーションを起動していませんか？	メモリが不足して、オーディオ・クリエーターLE を起動できないことがあります。他のアプリケーションを終了してから、オーディオ・クリエーターLE を起動してください。それでもエラーが表示された場合は、Windows を再起動してみてください。
	常駐プログラムが動作していませんか？	ウィルス・チェッカーなどの常駐プログラムがあると、オーディオ・クリエーター LE が正常に動かないことがあります。常駐プログラムを停止した状態でオーディオ・クリエーター LE を使用してみてください。
オーディオ・デバイスのエラーが表示される	他の音楽アプリケーション・ソフトウェアを使用していませんか？	メディア・プレーヤーなど、オーディオの再生機能を持ったアプリケーションが実行されていると、オーディオ・クリエーター LE からオーディオ・デバイスを使用できないため、オーディオ・クリエーターLE の起動時にエラーが表示されます。オーディオの再生機能を持ったアプリケーションを終了してから、再度オーディオ・クリエーターLE を起動してください。
	オーディオ・デバイスの設定は適切ですか？	サンプルレート（P.33）が、接続しているオーディオ・インターフェースで使用可能な設定かどうかを確認してください。 また、オーディオ・クリエーターLE で使用しないオーディオ・デバイスがインストールされている場合は、これらのオーディオ・デバイスを無効にするか、関連するオーディオ・インターフェースをコンピュータから取り外してみてください。
	オーディオ・インターフェースの設定と、オーディオ・クリエーターLE の設定が一致していますか？	オーディオ・インターフェースとオーディオ・クリエーターLE のサンプルレートやビット数が一致しているか確認してください。 『**オーディオ・デバイスの設定**』（P.12） 『**サンプルレートの設定について**』（P.33）
「Audio Creator LE は正しくインストールされていません。」とエラーが表示される	オーディオ・クリエーターLE が正しくインストールされていません。	以下の手順で、オーディオ・クリエーターLE を再インストールしてください。 **1.** 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。 **2.** Windows のスタート・メニューから、コントロールパネルを選択します。 **3.** プログラムのアンインストール（WindowsXP ではプログラムの追加と削除）をクリックします。 **4.** プログラムの一覧表の中から、Audio Creator LE をクリックします。 **5.** アンインストール（WindowsXP では削除）をクリックしてオーディオ・クリエーター LE をアンインストールします。 ※ ユーザーアカウント制御に関する確認画面が表示された場合は、続行をクリックします。 **6.** オーディオ・クリエーターLE のアンインストール後、Windows を再起動します。 **7.** Windows の再起動後、『**インストールとレジストレーション**』（P.6）に従ってオーディオ・クリエーター LE を再度インストールします。
	インストール先が 2 バイト文字の名前を持つ日本語などのフォルダになっていませんか？	2 バイト文字のフォルダへオーディオ・クリエーターLE をインストールすることはできません。アンインストール後、『**インストールとレジストレーション**』（P.6）に従って、正しい手順でインストールしなおしてください。

再生時のトラブル

トラブル	確認事項	対処
曲データが開けない	ハード・ディスクに十分な空き容量がありますか？	オーディオ・ファイルを開く場合は、ハード・ディスクに十分な空き容量があることを確認してください（少なくとも曲データのサイズ以上）。
		MP3 などの圧縮オーディオ・フォーマットをオーディオ・クリエーター LE で開くときは、非圧縮オーディオ・フォーマットに展開されますので、それに応じた空き容量が必要です。
	サイズの大きなオーディオ・ファイルを開こうとしていませんか？	オーディオ・クリエーター LE では、2GB を超えるオーディオ・ファイルを扱うことができません。MP3 などの圧縮オーディオ・フォーマットの場合は、非圧縮オーディオ・フォーマットに展開された状態で 2GB を超えるオーディオ・ファイルは、同様に扱うことができません。
音がまったく鳴らない	再生機器（スピーカー、ヘッドホン）は正しく接続されていますか？	再生機器の取扱説明書を参考に、正しく接続してください。
	電源スイッチはオンになっていますか？	再生機器の電源がオンになっているかを確認してください。
	ボリュームつまみは上がっていますか？	再生機器のボリュームつまみが上がっているかを確認してください。
	ボリュームコントロールの音量フェーダーが下がっていませんか？	お使いのコンピュータの内蔵サウンド機能にミキサー・ユーティリティが付属する場合、ミキサー・ユーティリティを確認して、再生ボリュームが十分に上がっているか確認してください。ミキサー・ユーティリティを起動するには、［**オプション**］ボタンをクリックして**オーディオオプション**ダイアログを開き、ドライバモードが **MME（32-Bit）**になっているのを確認のうえ、［**Windows ミキサーを開く**］をクリックします。コンピュータのミキサー・ユーティリティが開きます。
	オーディオ・インターフェースのドライバは正しくインストールされていますか？	オーディオ・インターフェースのドライバが正しくインストールされているか確認してください。
	オーディオ・インターフェースの設定と、オーディオ・クリエーター LE の設定が一致していますか？	オーディオ・インターフェースとオーディオ・クリエーターLE のサンプルレートやビット数が一致しているか確認してください。 『**オーディオ・デバイスの設定**』（P.12） 『**サンプルレートの設定について**』（P.33）
	オーディオ・クリエーターLE の起動中にオーディオ・インターフェースの電源を切ったり、USB ケーブル／ IEEE1394 ケーブルを抜き差ししていませんか？	オーディオ・クリエーター LE の起動中にこれらの操作をすると、オーディオ・クリエーター LE とオーディオ・インターフェースの通信が切断され、オーディオ・クリエーター LE が応答しなくなる場合があります。オーディオ・インターフェースの接続を確認したうえで、コンピュータを再起動し、オーディオ・クリエーター LE を起動してください。
	オーディオ・クリエーターLE の起動中にコンピュータをサスペンド状態にしていませんか？	

トラブル	確認事項	対処
音が正しく鳴らない	オーディオ・インターフェースの設定と、オーディオ・クリエーター LE の設定が一致していますか？	オーディオ・インターフェースとオーディオ・クリエーターLE のサンプルレートやビット数が一致しているか確認してください。 『**オーディオ・デバイスの設定**』(P.12) 『**サンプルレートの設定について**』(P.33)
再生できない	USB スピーカーや USB マイク、スタンドアロン版のソフトウェア・シンセサイザー（Roland VSC スタンドアロン版など）など、入力のみ／出力のみのオーディオ・デバイスがインストールされていませんか？	このような場合は、これらのオーディオ・デバイスを削除するか無効にしてみてください。

その他トラブル

トラブル	確認事項	対処
オーディオ CD の書き込みが失敗する	書き込み済の CD-R を使用していませんか？	未使用の CD-R を使用してください。
	CD の書き込みスピードを確認してください。	書き込みスピードを遅くすると改善される場合があります。 **1.** [**BURNER**] ボタンをクリックし、**ディスクの書き込み**ダイアログを開きます。 **2.** [**オプション**] ボタンをクリックし、**書き込みオプション**ダイアログを開きます。 **3. 書き込みスピード**を変更し、[**OK**] をクリックします。

音切れやドロップアウトの解消について

何らかの原因で、再生時にデータを処理しきれない、あるいは、オーディオの録音時にデータを記録できない状況になると、オーディオ・クリエーターLE は自動的に再生／録音を停止します。これを**ドロップアウト**と呼びます。また、オーディオ・クリエーターLE とコンピュータの内蔵オーディオ機能や、オーディオ・インターフェースの間の通信に問題が生じると、音切れやノイズなどの障害が発生します。
音切れやドロップアウトが発生する原因はさまざまですが、以下を参照して問題の原因を取り除いてください。

レイテンシを長めにする

レイテンシを極端に短くすると、コンピュータに無用な負担を強いることになります。

☞ **レイテンシ**（P.14）

正しいデバイス・ドライバをインストールする

オーディオ・デバイス以外のデバイスについても、お使いのコンピュータの構成に応じて、正しいデバイス・ドライバをインストールし、コンピュータが正常に動作していることを確認してください。特にコンピュータを改造した場合、周辺機器を増設した場合、メーカー製ではないコンピュータをお使いの場合にはご注意ください。

オーディオ・インターフェースのドライバを更新する

多くの場合は、オーディオ・インターフェースのドライバは、新しいほど問題が少なく性能も改善されています。

画面解像度を下げる

一部のコンピュータでは、CPU に大きな負荷をかけるグラフィック機能を搭載したものがあります。画面解像度を下げることで、負荷を軽減できるかもしれません。

外部接続のハードディスクを使用しない

USB 接続、FireWire 接続、ネットワーク接続のストレージ・デバイスには、コンピュータの CPU に大きな負担をかけるものがあります。オーディオ・クリエーターLE のオーディオ・データの保存には、これら外部接続のストレージを使用しないことをお勧めします。

使用しないオーディオ・インターフェースのドライバをアンインストールする

音楽制作用途を想定していないオーディオ・インターフェースの中には、他のオーディオ・インターフェースに対して悪影響を与えるものがあります。**オーディオ・クリエーター LE** が期待したほどのパフォーマンスを発揮しないような場合には、コンピュータに標準で搭載されているオーディオ機能を**デバイスマネージャ**などで**無効**にする、物理的に取り外すなど、デバイスのアンインストールを実施してください。

他のプログラムを終了する

他のプログラムが開いていると、**オーディオ・クリエーター LE** で使用可能な CPU リソース、メモリが減ります。作業に関係ないプログラムは、すべて終了させておく方がよいでしょう。

サンプルレートの設定について

オーディオ･クリエーターLE では､サンプルレートは 11025Hz､22050Hz､44100Hz､48000Hz､88200Hz､96000Hz､176400Hz､192000Hz から選択します。ただし、使用しているコンピュータの内蔵オーディオ機能や、オーディオ・インターフェースがサポートしているサンプルレートしか、使用することはできません。初期値は 44100Hz で、これはオーディオ CD と同じです。プロジェクトを高いサンプルレートで作成し、保存時に 44100Hz に変換することもできます。

高いサンプルレートを選ぶと、より高い品質でオーディオを扱うことができますが､CPU やメモリー、ハードディスクなどについてもより高い性能が要求されます。コンピュータの性能に不安があるのであれば、44100Hz や 48000Hz での使用をお勧めします。

■ サンプルレートの設定が必要なオーディオ・インターフェースをお使いの場合

オーディオ・インターフェースをお使いの 場合は、オーディオ・クリエーターLE での設定の前に、以下の手順を実行してください。

1. オーディオ・クリエーター LE を終了します。
2. オーディオ・インターフェースの取扱説明書を参照し、サンプルレートを変更してください。
3. オーディオ･クリエーターLE を起動します。起動時に**オーディオデバイスのエラー**が表示された場合でも、[**無視して続行**] を選択してください。

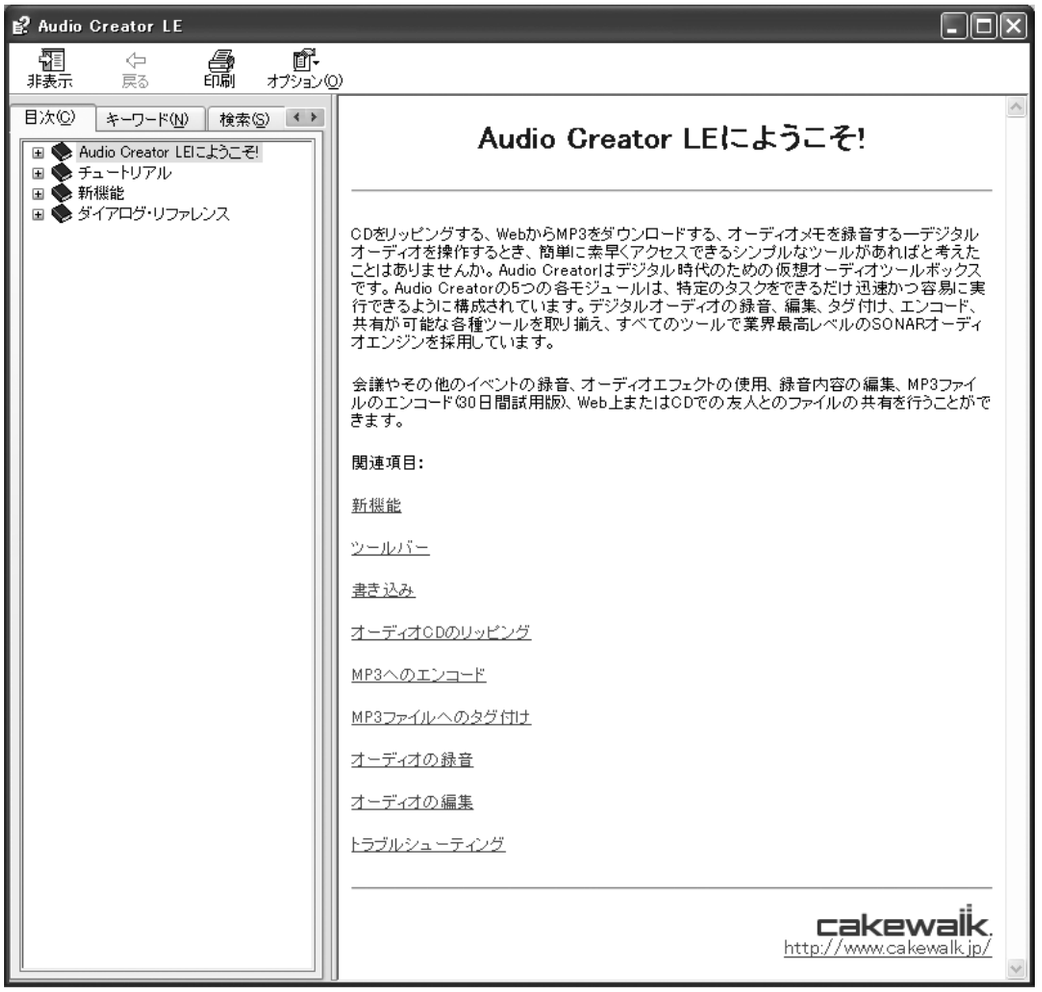
1. [**オプション**] ボタンをクリックして、**オーディオオプション**ダイアログを開きます。
2. **設定**タブを開き、**新規プロジェクトのサンプルレート**を変更します。
   オーディオ･インターフェースをお使いの方は、オーディオ・インターフェースで変更した値と同じ**サンプルレート**を選択します。
3. オーディオ・インターフェースがサポートしている**ビット数**を選択します。

4. [**適用**] をクリックします。
変更した**サンプルレート**が有効になります。
また、**サンプルレート**変更後は、**オーディオオプション**ダイアログ内の、**オーディオデバイスの確認**を実行してください。

5. [**OK**] をクリックして、ダイアログを閉じます。

オンライン・ヘルプの使いかた

オンライン･ヘルプとは、コンピュータの画面に表示する説明書のことで、この中にはオーディオ・クリエーターLE のすべての機能についての説明があります。
（本書「インストール・ガイド」には、オーディオ・クリエーターLE の代表的な操作手順を抜粋して記載しています。）
オーディオ･クリエーターLE を起動し、[**ヘルプ**] ボタンをクリックすると、**Audio Creator LE ヘルプ**ウィンドウが開きます。



オンライン・ヘルプでは、以下のような便利な検索ができます。

「目次」から探す

目次の中から知りたい情報を見つけて、その中にある情報を探していく方法です。本の目次を探すのと同じような感覚で、説明を見つけることができます。
たとえば、オーディオ・ファイルの保存について知りたいときは、それに近いタイトルを左側の画面で探します。ここでは「Audio Creator LE へようこそ！」をダブルクリック、さらに「オーディオエディタ・モジュール」をダブルクリックします。すると、この項目の詳細な内容がその下に表示されます。さらにその中から近いタイトルを探します。ここでは「オーディオファイルの保存」という項目がよさそうなので、これをダブルクリックします。すると、その説明が表示されます。

「キーワード」で探す

あらかじめ用意されているキーワードの中から知りたい情報を探す方法です。また、「キーワードを入力してください」と書かれているところの下のボックスに、探したい単語を入力すると、その単語を含むキーワードにジャンプします。

「検索」で探す

Web ブラウザの検索機能のように、キーワードを入力して読みたいページを探します。
たとえば、保存について知りたい場合は、

1. 「キーワードを入力してください」と書かれているところの下のボックスに「保存」と入力します。
2. **［検索開始］**ボタンをクリックします。
3. 「保存」という単語を含むページのタイトルが表示されます。
4. この中で、説明を読みたいところをダブルクリックすると、右側の表示部に説明が表示されます。
   もしも、手順 3 で表示される結果が多すぎる場合は、さらにキーワードを入力して検索結果を絞り込むことができます。「保存＆オーディオ」と入力して**［検索開始］**ボタンをクリックすると、絞り込まれたタイトル数になります。

※「&」は半角文字を使用してください。

「お気に入り」

一度見つけた説明ページを記憶しておく機能です。今後も見たくなりそうな説明は、ここに登録しておくと便利です。

登録したい画面が表示されている状態で、

1. 画面左側の「お気に入り」タブをクリックします。
2. 画面左側の一番下にある［**追加**］ボタンをクリックします。
3. 「トピック」の中に、登録した説明のタイトルが表示されます。
   このようにしておけば、次回から「お気に入り」タブ内に登録したタイトルをクリックして、読みたいページを見ることができます。

今表示している画面のヘルプを表示する

ほとんどの画面で、今表示している画面のヘルプを見ることができます。
各画面の［**ヘルプ**］ボタンをクリック、または説明を見たい画面を最前面にしてから、コンピュータのキーボードの［**F1**］ボタンを押してください。

マルチユーザーでの使用について

オーディオ・クリエーターLE をインストールするときは必ず管理者権限を持ったユーザーでログオンしてください。

オーディオ・クリエーターLE を使用するときは、一般ユーザー（Windows Vistaの場合）または制限ユーザー（Widnows XPの場合）でもお使い頂けます。管理者権限を持つユーザーでもお使い頂けます。

オーディオ・クリエーター LE のアンインストール

以下の手順で、オーディオ・クリエーターLE をアンインストールしてください。

1. 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。
2. Windows のスタートメニューからコントロールパネルを選択します。
3. プログラムのアンインストール（WindowsXP ではプログラムの追加と削除）をクリックします。
4. プログラムの一覧表の中から、Audio Creator LE をクリックします。
5. アンインストール（WindowsXP では削除）をクリックしてオーディオ・クリエーターLE をアンインストールします。

※ ユーザーアカウント制御に関する確認画面が表示された場合は、続行をクリックします。

6. オーディオ・クリエーターLE のアンインストール後、Windows を再起動します。

MEMO